



# 2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月5日

上場会社名 NKKスイッチズ株式会社  
コード番号 6943 URL <https://www.nkkswitches.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
配当支払開始予定日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 044-813-8026

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	1,986	23.1	3	98.4	39	84.2	27	84.0
2024年3月期第1四半期	2,582	2.2	209	25.1	251	32.8	172	52.1

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 336百万円 (44.1%) 2024年3月期第1四半期 601百万円 (21.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	33.65	
2024年3月期第1四半期	209.99	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	15,736	13,550	86.1	16,467.14
2024年3月期	15,535	13,272	85.4	16,128.57

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 13,548百万円 2024年3月期 13,270百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		50.00		70.00	120.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)		30.00		40.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	10.0	0		50	89.1	0		0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	842,520 株	2024年3月期	842,520 株
期末自己株式数	2025年3月期1Q	19,749 株	2024年3月期	19,749 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	822,771 株	2024年3月期1Q	822,899 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載しております業績見通し等の将来に関する記述につきましては、当社グループが本資料の発表日現在にて入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢や市場動向等に関わるリスク、不確定要因により変動する可能性があります。また、業績予想の背景や前提条件等の詳細につきましては、添付資料の2ページ「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(会計方針の変更に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く世界の経済環境は、インフレの長期化や欧米各国での政策的な金融引き締め継続等により景気下押しの圧力がみられ、また、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊迫化等の地政学リスクなど、先行きに対する不透明感が更に強まっております。日本経済におきましては、インバウンド需要の継続的な拡大等はあるものの、不安定な国際情勢や原材料・エネルギー価格等の高騰、実質賃金減少の継続による個人消費の低迷など、先行き不透明な状況となっております。また、当社グループが属する電子部品市場では、数年前の半導体不足や原材料不足からくる過剰な先行受注により、市場在庫が積み重なっている状況にあり、在庫調整局面が依然として続いております。

このような環境の中、当社グループは、2030年のありたい姿として制定したグループビジョン「私たちが笑顔となり、お客様の困りごとを顧客目線で解決する真のパートナーとなります。」を実現するため、2022年度から3か年の中期経営計画に取り組んでおり、最終年度となる2024年度も持続的な成長に向けて積極的な投資を行っております。また、中期経営計画では、行動理念として制定した「信頼し、信頼される良い会社」を目指す中で、「信頼」と「納期」を重点テーマとし、グループの総力を結集してこれらに関する戦略を積極的に展開してまいりました。

以上のことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,986百万円（前年同期比23.1%減）、営業利益は3百万円（前年同期比98.4%減）、経常利益は39百万円（前年同期比84.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は27百万円（前年同期比84.0%減）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の平均為替レートは、1米ドル155.75円（前年同期比13.5%の円安）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

#### ① 日本

日本経済は、インバウンド需要の継続的な拡大等により、景気は緩やかに持ち直しの動きがみられるものの、不安定な国際情勢、原材料・エネルギー価格等の高騰、円安進行等に伴う物価高の影響や実質賃金減少の継続による個人消費の低迷など、先行きに対する不透明感が更に強まっております。また、当社グループが属する電子部品市場では、数年前の半導体不足や原材料不足からくる過剰な先行受注により、市場在庫が積み重なっている状況にあり、在庫調整局面が依然として続いております。こうした中、当社グループの販売強化項目である「特定市場」や「ソリューションビジネスの確立」に取り組むなど積極的な施策を展開してまいりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の外部顧客向売上高は前年同期比27.7%減、グループ間の取引を含んだ売上高は1,610百万円（前年同期比17.7%減）となりました。

#### ② 欧米

欧米各国にて金融引き締め政策が継続する中、米国では個人消費は底堅く推移しているものの企業の設備投資は減速傾向にあり、高インフレの長期化やエネルギー価格の高騰に加え、米国大統領選挙の行方など、先行き不透明な状況となっております。また、欧米市場につきましても電子部品市場では、数年前の半導体不足や原材料不足からくる市場在庫が積み重なったことによる在庫調整に加え、根強い物価高や高金利の維持による財務リスク回避のため在庫調整局面にあります。こうした中、当社グループ販売強化項目の一つであるカタログディストリビューターを中心とする「ネットセールス」や「特定市場」に取り組むなど積極的な施策を展開してまいりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の外部顧客向売上高は現地通貨ベースで前年同期比31.5%減、為替の影響も含め1,035百万円（前年同期比22.2%減）となりました。

#### ③ アジア

中国では、不動産市場の低迷に加え個人消費も節約志向に変化なく国内の回復力に乏しく、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。また、アジア市場につきましても電子部品市場では、数年前の半導体不足や原材料不足からくる市場在庫が積み重なったことによる在庫調整局面であることに加え、主力である韓国における輸出産業の鈍化が重しとなるなど、伸び悩んでいる状況にあります。こうした中、当社グループ販売強化項目の一つである「特定市場」に取り組むなど積極的な施策を展開してまいりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の外部顧客向売上高は現地通貨ベースで前年同期比18.8%減、グループ間の取引を含んだ売上高は為替の影響も含め1,073百万円（前年同期比16.6%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は15,736百万円となり、前連結会計年度末に比べ201百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が361百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が139百万円、原材料及び貯蔵品が93百万円減少したことによるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は2,186百万円となり、前連結会計年度末に比べ77百万円減少いたしました。これは主に引当金が81百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は13,550百万円となり、前連結会計年度末に比べ278百万円増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定が286百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月8日の「2024年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想における為替レートにつきましては、1米ドル130円を前提としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,840,626	5,202,313
受取手形及び売掛金	1,430,882	1,291,367
商品及び製品	1,366,268	1,384,197
仕掛品	72,332	79,375
原材料及び貯蔵品	1,846,903	1,753,787
その他	480,757	516,764
貸倒引当金	△5,426	△5,669
流動資産合計	10,032,344	10,222,134
固定資産		
有形固定資産	3,359,995	3,344,220
無形固定資産	253,712	259,998
投資その他の資産	1,889,406	1,910,435
固定資産合計	5,503,115	5,514,655
資産合計	15,535,459	15,736,790
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	563,888	513,466
未払法人税等	27,777	15,083
引当金	128,819	47,346
その他	795,687	839,210
流動負債合計	1,516,174	1,415,106
固定負債		
退職給付に係る負債	65,566	81,221
役員退職慰労引当金	209,800	212,800
その他	471,889	477,004
固定負債合計	747,256	771,026
負債合計	2,263,430	2,186,133
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	9,787,867	9,757,957
自己株式	△162,818	△162,818
株主資本合計	11,410,152	11,380,243
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	611,373	633,646
為替換算調整勘定	1,248,596	1,534,797
その他の包括利益累計額合計	1,859,970	2,168,444
非支配株主持分	1,906	1,969
純資産合計	13,272,029	13,550,657
負債純資産合計	15,535,459	15,736,790

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	2,582,845	1,986,136
売上原価	1,514,958	1,129,477
売上総利益	1,067,887	856,659
販売費及び一般管理費	858,869	853,221
営業利益	209,017	3,437
営業外収益		
受取配当金	12,830	13,812
受取賃貸料	8,001	7,926
為替差益	9,029	17,760
持分法による投資利益	12,116	—
その他	5,032	5,129
営業外収益合計	47,010	44,628
営業外費用		
支払利息	1,065	1,816
賃貸収入原価	3,342	3,319
持分法による投資損失	—	3,277
営業外費用合計	4,407	8,413
経常利益	251,620	39,653
特別利益		
固定資産売却益	—	103
特別利益合計	—	103
特別損失		
固定資産除却損	7	—
特別損失合計	7	—
税金等調整前四半期純利益	251,612	39,757
法人税、住民税及び事業税	74,561	7,046
法人税等調整額	4,034	4,963
法人税等合計	78,596	12,009
四半期純利益	173,016	27,747
非支配株主に帰属する四半期純利益	215	62
親会社株主に帰属する四半期純利益	172,800	27,684

## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	173,016	27,747
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61,362	22,272
為替換算調整勘定	366,781	286,201
その他の包括利益合計	428,144	308,474
四半期包括利益	601,160	336,222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	600,944	336,159
非支配株主に係る四半期包括利益	215	62



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	1,023,785	1,331,306	227,753	2,582,845
外部顧客への売上高	1,023,785	1,331,306	227,753	2,582,845
セグメント間の内部売上高又は振替高	933,930	243	1,059,847	1,994,021
計	1,957,715	1,331,550	1,287,601	4,576,867
セグメント利益	31,306	174,830	44,092	250,229

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	250,229
セグメント間取引消去	△41,211
四半期連結損益計算書の営業利益	209,017

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	740,574	1,035,169	210,393	1,986,136
外部顧客への売上高	740,574	1,035,169	210,393	1,986,136
セグメント間の内部売上高又は振替高	869,698	—	863,494	1,733,193
計	1,610,272	1,035,169	1,073,888	3,719,329
セグメント利益又は損失(△)	△71,263	△3,138	55,352	△19,048

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△19,048
セグメント間取引消去	22,486
四半期連結損益計算書の営業利益	3,437

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)  
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	73,328千円	113,871千円